

< エマルジョン燃料見学会を開催しました >

6月25日に、弊社九州支店の松橋合材工場で、エマルジョン燃料の見学会を開催致しました。

これは、2006年より地球環境対策として研究を進めてきたもので、アスファルト混合物製造工場における骨材の乾燥と加熱に使用する燃料（A重油）にエマルジョン燃料を使用することで環境負荷を低減する技術です。昨年の10月に同工場に試験導入後、現在ではほぼ100%の混合物製造に使用しています。

エマルジョン燃料は、燃料油中の超微細化された水が瞬間的に急膨張することにより油分を微細化させ、気化を促進させるとともに空気との混合が良くなることで、燃焼効率が向上するというものです。

A重油だけを使用した場合に比べ、二酸化炭素(CO₂)排出量の低減はもちろん、窒素酸化物(NO_x)や硫黄酸化物(SO_x)等の有害物質濃度の低減も確認できています。

今後は、全国各地の工場にも順次導入を予定しています。

< 新聞掲載 (五十音順) >

九建日報 (6月29日)

建設通信新聞 (6月29日)

日刊建設工業新聞 (6月29日)



エマルジョン燃料の説明状況



エマルジョン燃料製造装置の見学状況